

大会への参加及び大会実施におけるガイドライン新旧対照表

改正後 令和5年2月9日版	改正前 令和4年9月15日版
<p>大会参加について</p> <p>○県外で開催される大会への参加は可とする。大会への参加にあたって不安がある場合は、事前に無料のPCR検査等（PCR検査又は抗原定性検査をいう。以下同じ。）を活用する。また、生徒及び保護者に対して事前に参加の意向を確認し、より特段の感染防止対策を徹底して参加する。なお、大会参加後1週間は、検温を含め体調管理をしっかりと行うとともに、不安がある場合は、無料のPCR検査等を活用すること。 <u>（以下削除）</u></p>	<p>大会参加について</p> <p>○県外で開催される大会への参加は可とする。大会への参加にあたって不安がある場合は、事前に無料のPCR検査等（PCR検査又は抗原定性検査をいう。以下同じ。）を活用する。また、生徒及び保護者に対して事前に参加の意向を確認し、より特段の感染防止対策を徹底して参加する。なお、大会参加後1週間は、検温を含め体調管理をしっかりと行うとともに、不安がある場合は、無料のPCR検査等を活用すること。 <u>併せて、厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用する。</u></p>
<p>宿泊について</p> <p>○宿泊をする部屋は、個室が望ましいが、相部屋での宿泊となる場合には、<u>（削除）</u>部屋内において他人と物の共用を行わないようにするほか、マスクの正しい着用や換気をするなど、密閉、密集、密接それぞれを徹底的に回避するなど、特段の感染防止対策を徹底する。また、二段ベッドは頭の向きを互い違いにする等、部屋内でも人と人との距離をとる。</p> <p>○<u>食事時に会話を行う場合は、</u>マスクを正しく着用する。</p> <p>○<u>入浴で（削除）大浴場を利用する場合は、（削除）脱衣室、浴室が密閉、密集、密接とならないようにする。（以下削除）</u></p>	<p>宿泊について</p> <p>○宿泊をする部屋は、個室が望ましいが、相部屋での宿泊となる場合には、<u>宿泊者が部屋の定員の50%以下となるよう人数を制限する。なお、部屋の定員の50%以下の配宿が困難な場合は、</u>部屋内において他人と物の共用を行わないようにするほか、マスクの正しい着用や換気をするなど、密閉、密集、密接それぞれを徹底的に回避するなど、特段の感染防止対策を徹底する。また、二段ベッドは頭の向きを互い違いにする等、部屋内でも人と人との距離をとる。</p> <p>○<u>食事は黙食し、会話の際は</u>マスクを正しく着用する。</p> <p>○<u>入浴は、部屋の風呂を使用する。部屋に風呂がなく、大浴場を利用する場合は、顧問又は引率者がグループ分けや入浴順番のタイムテーブルを作成するなどし、</u>脱衣室、浴室が密閉、密集、密接とならないようにする。<u>1グループ終わるごとに、顧問又は引率者が脱衣室の共用部分（ロッカー、脱衣かご、体重計、ソファ、イス、ドライヤー等）の消毒を行う。消毒等が終わるまで、次のグループは部屋で待機とし、浴室前等が密集、密接とならないようにする。</u></p>

<p>○ <u>(削除)</u></p>	<p>○ <u>大浴場を利用する場合のタオルは、部屋にあるもの又は個人で準備したものを使用し、他人と共用しない。</u></p>
<p><u>大会運営について</u></p> <p>○ <u>大会主催者は、会場の出入口や手洗い場付近に、手指消毒剤を設置する。</u></p> <p>○ <u>観客の上限は収容定員までかつ収容率100%まで可とする。この場合、参加人数が5,000人超かつ収容率50%超となる場合は、開催2週間前までに「感染防止安全計画」を県（下記、「その他」に記載の窓口）へ提出する。なお、上記以外については、「感染防止策チェックリスト」を作成し、ホームページ等に掲載・公表し大会後1年間保管する。</u></p> <p>○ <u>大会主催者は、受付等において、参加者等が距離をおいて並べるよう目印を設置し密集を防ぐ。</u></p> <p>○ <u>監督、コーチ、選手、運営スタッフについては、大会1週間前から「体調管理表」にて体温も含めて体調面について記録し管理していることから、受付時の検温は必須としない。</u></p> <p>○ <u>屋内競技は(削除) 定期的(30分に1回5分程度)に(削除)に換気を行う。会場の状況によっては、送風機などで空間の空気を動かす対応も実施し、密閉空間とならないよう努める。</u></p> <p>○ <u>試合中、監督、コーチ等が、かけ声をかける場合は、マスクを正しく着用して行う。</u></p> <p>○ <u>報道機関による選手・監督、大会関係者への取材については、マスクを正しく着用して実施してもらう。(以下削除)</u></p>	<p><u>大会運営について</u></p> <p>○ <u>大会主催者は、出入口には、手指消毒剤を設置する。</u></p> <p>○ <u>観客の人数は、上限人数5,000人又は収容定員の50%のいずれか大きい方かつ収容率の上限の50%(大声あり)又は100%(大声なし)となるため、主催者は、会場の広さ、座席の有無、役員数等を勘案して、観客の上限人数を決定する。</u></p> <p>※<u>大声とは、「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」となる。ただし、得点時の一時的な歓声等は必ずしも当たらない。</u></p> <p>○ <u>大会主催者は、受付等において、参加者等が距離をおいて並べるよう目印を設置する。</u></p> <p>○ <u>(新規追加)</u></p> <p>○ <u>屋内競技は試合中であっても定期的(30分に1回5分程度)に大会主催者主導で一斉に換気を行う。会場の状況によっては、送風機などで空間の空気を動かす対応も実施し、密閉空間とならないよう努める。</u></p> <p>○ <u>試合中は監督、コーチ、選手は大きな掛け声は出さない。</u></p> <p>○ <u>報道機関による選手・監督、大会関係者への取材については、マスクを正しく着用して実施してもらう。その場合、1m以上距離を確保する。</u></p>
<p><u>観客について</u></p> <p>○ <u>(削除)</u></p> <p>○ <u>屋外における観客のマスクの着用については、ほとんど会話がないう状況及び大きな</u></p>	<p><u>観客について</u></p> <p>○ <u>来場者の確認を取ることができない場合は、大会主催者・関係者及び参加者のみで実施することを検討する。</u></p> <p>○ <u>屋外における観客のマスクの着用については、身体的距離が2m以上確保できる場</u></p>

声援や歓声等を出さない場合で身体的距離が2 m以上確保できる場合は、不要とする。

○屋内における観客のマスクの着用については、身体的距離が2 m以上確保でき、ほとんど会話を行わず、大きな声援や歓声等を出さない場合以外は、着用する。

○発声による応援、楽器及び鳴り物を使っての応援を行う場合は、マスクを正しく着用する。

○県内の感染状況によっては、入場制限等を行う場合があることについて、事前に周知する。

その他

○「感染防止安全計画」については、下記の窓口へ提出すること。

※各様式は、くらしの安心推進課ホームページに掲載

【提出（相談）先】

（表）

<県に提出する物>

- ・感染防止安全計画
- ・イベントチラシなどイベントの内容がわかるもの

○濃厚接触者については、下記に該当する場合とする。

- ・患者と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった方
- ・手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、マスクなどの必要な感染予防策なしで、「患者」と15分以上の接

合、身体的距離が2 m以上確保できなくても、ほとんど会話がない場合は、必要ではない。ただし、身体的距離が2 m以上確保できない状況で会話がある場合は、着用する。

○屋内における観客のマスクの着用については、身体的距離が2 m以上確保でき、ほとんど会話を行わない場合以外は、着用する。

○発声による応援、楽器及び鳴り物を使っての応援（学校のブラスバンドは除く）は行わない。

○（新規追加）

その他

○大会を主催する場合、大会の規模ごとに県内の新型コロナウイルス感染症の感染状況により、県が公表する指標（レベル0から4）に応じ、開催2週間前までに「新型コロナウイルス感染症予防に係るイベント開催申出書」（以下「申出書」という。）とともに以下の表により「感染防止安全計画」又は「感染防止策チェックリスト」（以下「チェックリスト」という。）を県へ提出する。

（表）

※各様式は、くらしの安心推進課ホームページに掲載

【提出（相談）先】

東部地区開催：<くらしの安心推進課> 電話：0857-26-7284

中部地区開催：<中部総合事務所環境建築局> 電話：0858-23-3982

西部地区開催：<西部ワンストップセンター> 電話：0859-31-9637

○新規追加

<p><u>触があった方(周辺の環境や接触の状況等 個々の状況から患者の感染性を総合的に 判断する)</u> <u>(国立感染症研究所「新型コロナウイルス感 染症患者に対する積極的疫学調査実施要 領」より一部抜粋)</u></p>	
---	--